

第20回会津若松市環境大賞受賞者(令和3年度)

受賞名	区分	個人／団体／ 事業所名	功 績 内 容	
環境大賞	個人	中川 啓子	<p><功績></p> <p>◆平成12年から「生活学校会津あおい」で手芸による小物づくりを行っていたが、都度材料などを購入することが気になり、自ら新たに「あしたばの会」を立ち上げ、代表として日用品を利用した作品作りを始める。</p> <p>◆着なくなった着物や洋服の生地を使い、小物やバックなどのほか、日常的に着る服なども作成し、実際に着用している。</p> <p>◆家庭内においても、チラシをごみ入れにしたり、ベランダの日よけやカーテン、すだれなどを自作し使用している。</p> <p>◆自ら小物の作り方などリサイクル方法を考え、サークル内で指導するなど、他者の模範となる活動を行っている。</p> <p><選考結果></p> <p>永年にわたり、所属する団体等でリサイクル活動を普及しており、また環境フェスティバルにも参加するなど、本市の環境意識の高揚に寄与している。また、自ら率先して行動する点や、活動の継続性などが高く評価でき、他の市民の模範となるものである。今後も継続した活動と、将来的な発展が期待される。</p>	
環 境 賞	エネルギー部門	個人	田代 正志	<p><功績></p> <p>◆平成6年にソーラー温水器を導入したことを始まりに、環境にやさしいと思われる様々な取り組みについて、太陽光発電、エコキュート、電気自動車、薪ストーブなど思い付くままに導入してきた。薪は山の管理を兼ねて自宅の山から取ってきている。</p> <p>◆また、自宅の畑ではコンポストなどを使用しているほか、柵や支柱などは自宅の山の竹など、自然に帰る材料で自作するようにしている。</p> <p>◆特に活動について他者への働きかけなどは行ってはいないが、表彰されることで今後他の市民が環境に対する意識を持つきっかけになるものと思われる。</p> <p><選考結果></p> <p>自宅で再生可能エネルギーを率先的に取り入れており、環境に関する意識が高く、他の市民の模範となる。同様の取り組みが各家庭にや地域に広がれば、本市の環境保全への一助となることが期待される。</p>
	リサイクル部門	—	該当なし	—
	美化部門	—	該当なし	—
	環境教育部門	—	該当なし	—
	自然環境部門	—	該当なし	—